



# 幼児期に身に付けさせたい 10のチェックポイント

小学校入学前の幼児期に身に付けさせたい10のポイントを、家庭でのお子さんの様子を見てチェックしてみましょう。

- 決まった時刻に起きて、決まった時刻に寝る。
- 「おはよう」「おやすみなさい」「ありがとう」「ごめんなさい」などのあいさつができています。
- 自分で手や顔を洗ったり、歯をみがいたりしている。
- 一人で着替えをしている。
- 自分の持ち物とそうでないものを区別することができる。
- 遊んだ後の片付けをきちんとしようとしている。
- 友達と遊んだことなどをお家の人に話している。
- お手伝いなど、家庭内での自分の役割に取り組もうとしている。
- 呼ばれたら返事をしている。
- 家族以外の人にも自分の名前をはっきり言っている。



(注意) あくまでも目安です。発達の状況により、必ずしも全て当てはまらない場合があります。

## 困ったときは…

発育や発達障害、子育てなどで悩んだり困ったりしたら…

お子さんが通っている幼稚園、保育所等、又はお住まいの市町村の保健福祉関係課に、お気軽にご相談ください。

以下の県の機関でも相談を受け付けています。

- 子ども総合センター(子どもメンタルクリニック) ☎022-784-3576
  - 保健福祉事務所、児童相談所  
(県内各地域にありますので、右のQRコードもしくは以下のURLから検索してください。)
- URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kosodate/zennpan.html>

入学予定の  
小学校でも  
OKです。



県内保健福祉事務所  
児童相談所



保護者向け資料

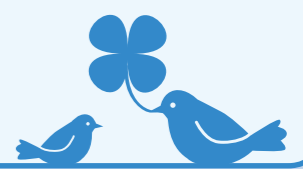


幼児期から小学校低学年まで

# ぎゅっと！ 子育てみやぎ 楽しい小学生生活に向けて



- ここ数年、小学校低学年で、気になる児童の姿が目につくようになりました。意に沿わないと友達をたたいたり、けったりしてしまう、授業中立ち歩いたり抜け出したりするなど、**学校での集団生活になじめない児童が増えています。**
- 小学校低学年では、日頃の家庭生活や入学前までの生活が大きく影響**します。学校生活を有意義なものにするために、保護者の皆さまにも家庭においてご協力いただきたいことがあります。
- このリーフレットは、そのための手引として作成したものです。  
ぜひ、参考にしてください。



子どもの「気持ち」や「思い」を受け止め、必要なルールやマナーを伝える中で「ほめる」「認める」ことが、お子さんに安心感を与え、自己肯定感が育まれます。

# 明るく、楽しい小学校生活

安心感を持った子どもは、心がおだやかで、どんどんいろいろなことにチャレンジすることができるようになります。それが、明るく楽しい小学校生活につながっていきます。



子どもの心を丸ごと受け止める!

## 十分に甘えさせる

愛されている

「甘えさせる」とは、子どもの「気持ち」や「思い」を身体や心で受け止めること。子どもが寄り添ってきたら手をつないであげたり、がんばったけれどできないことを手伝ってあげたり。子どもが思う存分甘えられるのは、お家の人だからこそです。

十分に甘えることができた子



十分に甘えることができた子は、愛されていると感じ、周りの人を信頼することができます。また、自分に自信を持ち、積極的に物事にチャレンジし、根気強く努力するようになります。

十分に甘えられなかった子



お家の人から突き放されたり、無視されたり、叱られてばかりいたりする子どもは、自分に自信を持てず、攻撃的でわがままな子になると言われています。

### 甘えさせる例と甘やかす例

- 甘えさせる例**
- ボタンや靴ひもなど、試行錯誤の結果、子ども一人ではできなかった場合に「がんばっているね」と認めて手伝ってあげる。
  - 子どもが転び、泣きながら訴えてきたので、「痛かったね」となぐさめる。

- 甘やかす例**
- ▲ もうすぐ夕食なのに「お腹が空いた」と騒ぐのでお菓子をあげる。
  - ▲ お菓子やおもちゃを子どもがほしがればすぐに買ってあげる。
  - ▲ 子どもが自分で片付けられるのに親がやってあげる。

## 安心感

認められている

やろうとしたことをほめる、認める!

## しつけをする

「しつけ」とは、ルールやマナーを伝えること。正しいしつけは、子どもの将来への大切な贈り物です。大切なのは、厳しくすることではなく、がんばったことやできたことをほめ、認めることです。

### 基本的な生活習慣 今こそ大事なルブル!

ルブルとは、子どもの健やかな成長に必要な「しっかり寝ル・きちんと食ベル・よく遊ブで健やかに伸びル」からとったものです。規則正しいリズムで質の良い睡眠、家族そろって食べるバランスの良い食事、体と心を育てる外遊びがポイントです。また、保護者が自らの生活習慣を整えることが、子どもの生活リズムを整える上でとても重要です。

### あいさつ コミュニケーションの基本はあいさつです!

集団生活はあいさつから始まります。家族や友達同士の心地よいあいさつが家族や友達との心のかよい合いにつながります。



### ルールを守る 家庭のルールが基本です!

公共の場や交通のルール、マナーは大人がお手本です。子どもは親の姿を見て育ちます。身近な大人の態度や言動が子どもに大きな影響を与えます。



### 失敗も大切です!

うまくいかなくても、失敗しても、それが子どもをたくましくします。大人が子どもの失敗を恐れ、あれこれして手を回すのは、子どもの自立を妨げます。失敗しても、やろうとしたことをほめ、認めてあげましょう。



### 幼少期で気を付けたいこと

「人の命は大切。心も体も傷つけない。」ということは、人として大切なことであり、幼少期から育む必要があります。暴力行為はもちろん、テレビやゲーム等の暴力的なシーンは、子どもを暴力的、攻撃的にさせると言われています。また、「殺す」、「死ぬ」などの言葉をよく耳にするのも心配です。それを親が使うと、心理的な虐待につながります。

### 子どもが言うことを聞かないときは…?

食べなさいと言っても食べない。朝は忙しいのに、子どもはなかなか言うことを聞きませんよね。そんな時、あなたならどうしますか?  
 A 「時間ないんだから! 何やってんの!？」と言って厳しく叱る。  
 B 「今日の元気のもとになるよ。一緒に食べよう。」  
 ○Aを選択 → 感情に任せての言動は、しつけではなく、子どもへの身体的、心理的な虐待になる恐れがあります。  
 ○Bを選択 → Bが最も良い言葉かけになるかは、性格や環境により異なりますが、子どもがその気になるような言葉をかけてあげましょう。